

第 38 期

中間事業報告書

(平成17年10月1日から
平成18年3月31日まで)

ユニベルス株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 .03-5148-3000 (代表)

営業報告書

(自 平成17年10月1日)
至 平成18年3月31日)

1. 営業概況

営業の経過及び成果

当社は4期前より、営業収益の向上、在庫圧縮による収益構造の改善、また次世代の収益に向けた製品開発等の努力を続けてまいりました。また、平成18年1月1日に株式会社昭永電設を100%子会社化した結果、売上高は1,908百万円、営業利益は83百万円、経常利益は91百万円、中間純利益は74百万円となりました。

セグメント別の売上高を見ますと、電子機器製造事業につきましては、1,460百万円となりました。

内訳につきましては、ウェイング・FA（ファクトリーオートメーション）は、地道な営業戦略、OEM先への提案営業が実り、前年同期に比べまして、95百万円の増加となりました。

環境は、前年同期に比べまして、12百万円の減少となりました。

ロジスティクスは、新規の顧客の獲得がございましたが既存顧客の設備投資一巡により前年同期に比べまして、32百万円の減少となりました。

セキュリティは、SAS（物品監視システム）を中心に首都圏でビジネスを展開しましたが、ドラッグストア等の新規出店の減少などもあり、対前年比はほぼ横ばいとなりました。

情報・通信は、前年同期に比べまして38百万円の減少となりました。これは開発製品が販売されるまでの端境期であるためであります。

その他電子機器は、前年同期に比べまして15百万円の減少、ロードセル等商品は前年同期に比べまして31百万円の減少となりました。

また、平成18年1月1日に株式会社昭永電設を100%子会社化した結果、新たに加わりました電設事業については447百万円となりました。なお、連結初年度により前年同期の対比は行っておりません。

収益面を見ますと、ユニパルス単体の売上高は前年同期37百万円減少しましたが、販管費及び一般管理費の経費削減努力を継続の結果、営業利益は前年同期に比べまして11百万円の増加となりました。

経常利益は前年同期に比べまして24百万円の増加、中間純利益は前年同期に比べまして35百万円の増加となりました。

この結果、当中間会計期間の売上高は1,460百万円、経常利益49百万円、中間純利益50百万円となりました。

2. 会社の概況（平成18年3月31日現在）

(1) 主要な事業内容

区 分		主 要 用 途	品 目
電 子 機 器 製 造 事 業	製	ウェィング 自動計量制御 (液体、粉体の連続充填の計量制御、トラックスケール、ホッパースケール、パッカースケール、ウェイトチェッカー、食品加工プラント、化学プラントの計重、配合計量)	ロードセル指示計、ウェィングコントローラ
		ファクトリーオートメーション ファクトリーオートメーションシステムの中で圧入、加締め、トルク等の計測、制御管理	デジタル指示計、ダイナミック・フォース、プロセスサ、DCアンプ、ロードセルコンバータ、シグナルコンディショナ
		環 境 環境（大気、水質、地震、振動、騒音）の計測、分析、記録、通信	データロガー、地震計
	品	ロジスティクス サプライチェーン・マネジメントを実現する手段としてのカートマネジメントシステム 棚卸支援	CMS（カートマネジメントシステム）、オーディター端末
		セキュリティ 防犯、機密保持、偽造防止、万引き防止	SAS（物品監視システム）
		情報・通信 生産現場での各データ記録、収集、分析による品質向上、生産性の向上	プロセスレコーダー、データロガー、インテリジェントプリンタ、LIF-DU
		その他の電子機器 その他	アルチバリオNANA
商 品	当社製品と組み合わせるセンサー等用途はウェィング、ファクトリーオートメーションと同じ	ロードセル、キャリブレータ、mmEye	
電 設 事 業	電設設計・施行・管理		

(2) 主要な営業所・工場及び連結子会社

- ◎本社 東京都中央区銀座7-16-3
- ◎営業所 技術センター（埼玉県越谷市）
大阪営業所（大阪府大阪市）
名古屋営業所（愛知県名古屋市）
広島営業所（広島県広島市）
福岡営業所（福岡県福岡市）
- ◎連結子会社 株式会社昭永電設（千葉県千葉市）
協同電子システム株式会社（神奈川県横浜市）
(平成18年6月1日)

(3) 株式の状況

- ① 会社が発行する株式の総数 17,000,000株
- ② 発行済株式の総数 5,377,500株
- ③ 株主数 3,684名
- ④ 大株主

株主名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数	議決権比率	持株数	議決権比率
吉本 喬 美	1,592,300株	29.61%	—	—
星 竹 夫	144,000株	2.67%	—	—
ユニパルス社員持株会	111,300株	2.06%	—	—
三菱UFJ信託銀行株式会社	100,000株	1.85%	—	—
日本生命保険相互会社	100,000株	1.85%	—	—
降 旗 徹	82,000株	1.52%	—	—
日本証券金融株式会社	81,000株	1.50%	—	—
玉 久 明 子	60,900株	1.13%	—	—

(4) 従業員の状況

従業員数		前中間比増減	平均年齢	平均勤続年数
男性	96名	(+) 4名	37.90才	9.86年
女性	26名	(+) 1名	32.38才	4.92年
合計又は平均	122名	(+) 5名	36.73才	8.81年

(注) パートタイマー及び嘱託契約者49名(8時間就業換算人員)を含んでおりません。

(5) 取締役及び監査役

地位	氏名	担当又は主な職業
代表取締役会長	吉本 喬 美	
代表取締役社長	後藤 克 誓	
取締役	和田 倫 幸	経営統括本部長
取締役	石丸 義 信	技術本部長
取締役	中澤 昭 二	製造本部長
取締役	三野 幸 夫	営業本部長
取締役	秦 信 行	大学教授
常勤監査役	小原 正 一	
監査役	藤井 幸 弘	税理士
監査役	山本 清 次	公認会計士
監査役	大村 卓	

- (注) 1. 三野幸夫氏は平成17年12月18日付で取締役に就任しました。
 2. 秦 信行氏は商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。
 3. 監査役 小原正一、藤井幸弘、山本清次及び大村 卓の4氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

中間連結貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産		流 動 負 債	
1. 現金及び預金	1,269,699	1. 支払手形及び買掛金	851,843
2. 受取手形及び売掛金	1,072,372	2. 工事未払金	140,725
3. 完成工事未収入金	147,112	3. 短期借入金	100,000
4. 有価証券	1,499,487	4. 一年以内に返済予定の 長期借入金	487,229
5. たな卸資産	1,273,181	5. 未払法人税等	7,503
6. 繰延税金資産	59,908	6. そ の 他	117,035
7. そ の 他 貸倒引当金	30,853 △2,011		
流動資産合計	5,350,603	流動負債合計	1,704,337
固 定 資 産		固 定 負 債	
1. 有形固定資産		1. 社 債	300,000
(1) 建物及び構築物	616,444	2. 長期借入金	931,156
(2) 土 地	835,987	3. 退職給付引当金	47,631
(3) そ の 他	186,846	4. 役員退職慰労引当金	295,268
有形固定資産合計	1,639,277	5. 繰延税金負債	1,590
2. 無形固定資産		6. そ の 他	61,800
(1) 連結調整勘定	151,547	固定負債合計	1,637,446
(2) そ の 他	17,187	負 債 合 計	3,341,784
無形固定資産合計	168,734	資 本 の 部	
3. 投資その他の資産		資 本 金	1,733,612
(1) 投資有価証券	139,274	資 本 剰 余 金	1,733,505
(2) 繰延税金資産	502,139	利 益 剰 余 金	1,280,018
(3) 賃貸用不動産	160,888	その他有価証券評価差額金	13,840
(4) そ の 他	153,748		
貸倒引当金	△11,908	資 本 合 計	4,760,975
投資その他の資産合計	944,143	負 債 及 び 資 本 合 計	8,102,759
固定資産合計	2,752,155		
資 産 合 計	8,102,759		

中間連結損益計算書

(自 平成17年10月1日
至 平成18年3月31日)

(単位：千円)

	科	目	金額	
経常損益 の部	営業損益の部	営業収益		
		売上高	1,908,297	
		営業費用		
			売上原価	1,344,223
			販売費及び一般管理費	480,856
			営業利益	83,217
	営業外損益の部		営業外収益	29,483
		営業外費用	21,391	
		経常利益	91,309	
特別損益 の部		特別利益	48,199	
		特別損失	278	
		税金等調整前中間純利益	139,230	
		法人税、住民税及び事業税	4,766	
		法人税等調整額	60,105	
		中間純利益	74,358	

中間連結剰余金計算書

(自 平成17年10月1日
至 平成18年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金	額
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高		1,731,475
資本剰余金増加高		
新株予約権の行使による新株式の発行	2,030	2,030
資本剰余金中間期末残高		1,733,505
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高		1,270,105
利益剰余金増加高		
中間純利益	74,358	74,358
利益剰余金減少高		
配当金	64,446	64,446
利益剰余金中間期末残高		1,280,018

株 主 メ モ

決 算 期 日 9月30日

定時株主総会 12月中

1単元の株式数 100株

公告掲載方法 日本経済新聞

当社は、貸借対照表及び損益計算書を、ホームページに掲載しております。

貸借対照表等の掲載場所は次のとおりであります。

<http://www.unipulse.com/jp/ir/calcrep.html>

株式名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 取 扱 場 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店